



犯罪を未然に防ぎ、  
陰ながら人々の生活を守っています。

山中 琴友季さん(1996年生まれ)

愛知県立美和高校 出身  
愛知学院大学 法学部卒業

愛知県江南警察署

江南市木賀町大門23  
https://www.pref.aichi.jp/police/syokai/sho/kounan

なるためには

●必要資格/特になし  
●主な進路/高校卒業→大学進学→警察官採用試験に合格→警察学校へ入校→交番勤務

——学生時代

「幼少期は、バスケットボールやRPGゲームが好きだった記憶があります。警察官を志望するようになったのは、小学校2年生のときです。きっかけは、集団下校中に変質者に遭遇して怖がっていた私達に、女性警察官が優しく対応してくれた出来事です。それ以来、『将来は警察官になりたい』と思うようになりました」

大学時代に学んだことは？

「愛知学院大学法学部では、六法をはじめとする法律の基礎を学びました。特に印象に残っているのは、刑法の授業で実際の事件をもとにしたさまざまな判決ケースを学んだことです。今、警察官として法律用語を扱うことも多いため、大学での学びがとても役立っています。また、愛知学院大学では1年次から学内で公務員講座を受講できたため、予備校などに通わずに警察官採用試験の試験対策をすることができました」

——仕事について

「警察官採用試験合格後は警察学校へ入校し、体力づくりや勉強、訓練などに打ち込みます。警察学校では、厳しい環境の中で警察官として必要な知識や技能を身につけることができました。そして学校生活を過ごしていく中で、同期との強い絆が生まれました」

——なるためには

「警察官は人を相手にすることが多い仕事のため、人と関わるのが好きな人に向いていると思います。また、女性の場合は、女性警察官の人数が少ないこともありますが、女性被害者への対応などで重宝されます。活躍の場面も多くあります。学生時代は、勉強と体力づくりをしておくと思いいます。江南警察署では、警察官になりたい人に向けて、個別でミニ説明会を行っていますので、興味のある方はお気軽に参加してみてください！」



仕事内容を教えてください。

「地域課の警察官として、交番勤務をしています。交番を訪れた方に対して落とし物の対応、地理案内などのほか、110番対応やパトロールも担当しています」

最初に苦労したことは？

「警察官は、事件・事故の報告書をはじめ、書類を作成する場面が多いです。書類作成の際は、語彙力や文章力が求められるため、慣れるまでは苦労しましたが、裁判の判決に関わる重要な書類のため、現場の様子を正しく表現することを心がけてます」

——やりがい

「警察官には犯罪を未然に防ぎ、県民の方々の安全を守る役割があります。それは、日々の成果がはっきりと分かる仕事ではありませんが、陰ながら県民の方々の安全を守っていることをとても誇りに感じています。経験を通じ、いざ生活安全課で少年係を担当するのが目標の一つです」



7歳 女性警察官に助けられたことをきっかけに、将来の夢が警察官になる。  
23歳 警察官採用試験に合格し、警察学校へ入校する。  
24歳 交番に勤務し、パトロールや110番対応などで県民の安全を守る。

自分史

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>

